



2023年7月12日

各 位

会 社 名 ホームポジション株式会社
代表者名 代表取締役社長 伴野 博之
(コード番号：2999 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役財務本部長 小島 鉄也
(TEL. 03-3516-3311)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年10月12日に公表いたしました2023年8月期業績予想及び配当予想につきまして、下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 2023年8月期業績予想数値の修正（2022年9月1日～2023年8月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	21,760	1,044	848	565	94.45
今回修正予想 (B)	19,000	200	15	10	1.67
増減額 (B-A)	△2,760	△844	△833	△555	
増減率 (%)	△12.7	△80.8	△98.2	△98.2	
(参考)前期実績 (2022年8月期)	18,441	884	710	476	98.37

2. 修正の理由

当社はこれまで、創業の地である静岡県を中心とする東海エリア、及び近年営業拠点を拡大する関東エリアにおいて分譲戸建住宅のシェア拡大に注力しております。

関東エリアでは、土地価格の上昇に対し仕入れを厳選しつつ、デザイン性や仕様を高めることで、建築資材・住宅設備機器といった原価高騰分を販売価格に転嫁できており、着実に販売棟数を拡大しております。

一方で、販売棟数の多い東海エリア(浜松周辺を除く)では、コロナウイルスの感染拡大が一定の落ち着きを見せたことによる戸建住宅需要の一服に加えて、原価高騰による販売価格の上昇、及び物価高騰を背景とした消費者の購買マインドの低下など、住宅市場を取り巻く環境は厳しい状況が続いております。

このような事業環境のもと、東海エリアでは同業他社との競争が激化しており、販売棟数は当初計画を下回る見込みであります。また、全社の粗利率は当初約14%を計画しておりましたが、東海エリアにおける競争激化により販売価格が当初計画を下回り、粗利率は約12%に低下する見込みであります。その結果、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益が減少する見込みであります。

当社はこのような状況に対処すべく、投下資金の早期回収及び在庫水準の適正化を目的として、東海エリアにおける完成在庫については、物件毎に一定の利益水準の確保を目指しつつも、値下げ販売を行っていることから、利益率の大幅な低下が見込まれます。

以上を踏まえ、改めて事業状況、案件状況等を見直し、様々な情報を勘案した結果、2022年10月12日に公表しております2023年8月期業績予想値まで回復させることは難しいと判断いたしました。

3. 配当予想の修正

	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想	—	28.00	28.00
今回修正予想	—	5.00	5.00
当期実績	0.00		
前期実績 (2022年8月期)	0.00	25.00	25.00

4. 修正の理由

当社は株主の皆様に対する安定的かつ継続的な利益還元は重要な課題と認識しております。しかしながら、通期業績予想の修正に伴い、2023年8月期の期末配当予想につきましては、1株当たり5円に修正いたします。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります

以 上